

【事例】

| | | 改訂内容 |
|-----------------------|-------------------|--|
| 全 事 例 | | <p>学習指導要領の改訂に沿って、主体的・対話的な深い学び（アクティブラーニング）につながる内容に見直し</p> <p>《例》</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「単元を貫く問い」を新たに設定 ▶ 単元の目標を見直し（情報収集、授業の振り返り及び探究学習の記載の充実） ▶ 評価規準を見直し（「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3区分に見直し） ▶ 授業において取り上げたい要素を新たに記載 |
| 各 学 校 段 階 | 小 学 校 【P3～19】 | 「税」に関心を持つことに重点を置いた紹介事例などを追加 |
| | 中 学 校 【P20～29】 | <p>財政の持続可能性と関連付けて考察・表現できる授業展開に見直し</p> <p>《学習指導要領（社会科公民的分野）より》</p> <p>「財政及び租税の役割」については、財源の確保と配分という観点から、財政の現状や少子高齢社会など現代社会の特色を踏まえて財政の持続可能性と関連付けて考察し、表現させること</p> |
| | 高等学校 【P30～40】 | 新しい必修修科目「公共」への対応（事例の追加・修正） |

「租税教育の事例集」の主な改訂内容

【参考資料】

| | 改訂内容 |
|-----------------------|---|
| 租税教育の 体系図 【P43】 | <ul style="list-style-type: none">➤ 学習指導要領の社会科・公民科の目標等の記載を参考に、「学校段階」別に「育成を目指す資質・能力」を整理➤ 租税教育に関する項目を「授業で取り上げたい要素」として整理 |
| 参考教材 【P44~55】 | <ul style="list-style-type: none">➤ 児童・生徒に配付された学習用端末の利用を想定し、URL及びQRコードを追加➤ 授業で役立つ情報（各省庁等のホームページに掲載されている資料など）を「授業で取り上げたい要素」別に整理 |